



新 秋 剣 連

発行
 秋田県剣道連盟
 〒010-0914
 秋田市保戸野千代田町14-12
 SAKAEビル 2F-B
 TEL 018-883-0680
 FAX 018-883-0663
 E-mail a-kendo@abelia.ocn.ne.jp
 http://www.18.ocn.ne.jp/~axtkendo/



特集

秋田わか杉国体

をめぐって



岡山国体入場行進

発刊にあたって



秋田県剣道連盟会長

長谷部 誠

秋田県剣道界の発展に日頃よりご尽力・ご協力を賜っている皆様に心よりお礼と感謝を申し上げます。

平成19年の秋田わか杉国体開催まで、いよいよ2年を切りました。既にご承知のとおり、剣道競技は男鹿市にて開催されます。本年6月には、会場となる男鹿市総合体育館が立派に完成し、9月の東北総合体育大会剣道競技は新装の体育館において開催され、成功裡のうちに終了しております。男鹿市当局をはじめ、関係各位のご尽力に改めて感謝申しあげる次第であります。

この東北総体で本県チームは、少年男子が力溢れる戦いぶりで見事優勝、少年女子においても国体出場権を獲得し、成年男子と共に10月には岡山国体への出場を果たしました。

試合結果は別項にゆずりますが、成年男子・少年男子ともにベスト16、少年女子がベスト8と全国の強豪を相手に善戦しております。

今般、ここに装いを新たに広報誌『秋剣連』（第2号）を発行いたしました。多くの方々にお読みいただき、本県剣道へのご理解と秋田わか杉国体に向けて連盟会員はじめ関係者皆様の総意結集の一助となれば幸いに存じます。

特集

秋田わか杉国体をめざして



男鹿市長 佐藤 一誠

『秋剣連』11月号の「平成19年秋田わか杉国体」特集にあたり、剣道競技の会場となる男鹿市総合体育館をご紹介します。

男鹿市は、皆様もよくご存知のとおり、海の幸、山の緑、夕日、そして温泉と自然豊かな半島です。さらに、男鹿といえば「泣ぐ子はいねがー」でお馴染みのナマハゲに代表される伝統文化のふるさとであり、若美町との1市1町の合併を機に「自然・文化・食を大切にする観光交流都市」を目指しております。

さらに本市では、新市建設計画において「のびのび育む、創造力あふれるひとづくり」として文化・スポーツ活動を積極的に推進することとし、スポーツ振興については、指導者の育成や施設の充実に努めております。本年6月には、平成15年度より建設を進めて参りました男鹿市総合体育館が完成し、7月1日をもって利用者に共用を開始いたしました。これまで総合体育館のなかった男鹿市にとりまして、この完成は市民が長く待ち望んでいたものであり、これまで以上に市民スポーツの推進、各種スポーツ団体の強化・育成が図られると共に、全県、全国規模の大会を開催することができるものと思われ

男鹿市総合体育館は、510席の観覧席を備え、メインアリーナ、武道競技もできるサブアリーナの他、トレーニングルーム等延べ床面積が5688平方メートルで、バリアフリーにも配慮した施設です。サブアリーナは太陽熱を利用したOMソーラーを採用し、冬は暖房、夏は換気を行う省エネルギー方式が特徴です。今年9月2日・3日には、この体育館を会場に「第32回東北総合体育大会剣道競技会」が開催され、24チーム、186人の選手と130名余りの役員が参加し、盛会のうちに終了しております。

このあと平成18年6月には、秋田わか杉国体リハーサル大会として「東北高等学校剣道選手権大会」の開催を予定しており、また、平成19年の秋田わか杉国体本大会においては、47都道府県が参加する成年男子、各ブロック予選を勝ち抜いた16都道府県が参加する成年女子、24都道府県が参加する少年男子・少年女子の競技が行われることになっており、全国からすばらしい選手が集る剣道競技の会場地として誠に喜ばしい限りです。

第32回東北総合体育大会剣道競技会においては、貴連盟と本市で実行委員会を立ち上げ、多大なご協力をいただいで大会が無事終了したことに付いて、本誌上をお借りして改めて関係各位に厚くお礼申し上げます。また、今後の秋田わか杉国体リハーサル大会と、平成19年の本大会においても、貴連盟のお力添えのもと、本市といたしましても全力で大会の成功へ向けて取り組んでいく所存です。一層のご協力をお願いいたしますとともに、貴連盟の益々のご発展をお祈り申し上げます。

秋田国体に向けて



男鹿市・湯上市・萩田郡 剣道連盟事務局長 佐藤 忠浩

当連盟と致しましては、男鹿市開催をうけて出来る限りの要請に対応すべく、「秋田わか杉国体準備委員会」を設けて今日までまいりました。これまでは、国体視察派遣や大会補助役員研修への参加等、事前研修が主なものでありました。一方、大会の成功には地域住民の剣道に対する関心を高めることが必要との考えから、主要な事業を出来るだけ男鹿地域で開催するなど普及・啓蒙に努めてまいりました。

9月の東北総合体育大会では、二年後の本番に向けて作業や任務の確認と実践の場でありました。人員の確保には思うようにはかどりませんでした。日割りしながら多数の協力をいただきました。日頃、このような大会に接することのない私たちに、とりまして、直接運営に携わることが出来ましたことは、貴重な経験であったとともに緊張感で身の引き締まる思いでした。機会をとらえて、多くの会員に伝えることが重要と感じました。

今後の取り組みとしましては、開催地の連盟・会員として秋田国体の成功にむけて微力ながら尽力すべく、秋田県剣道連盟や男鹿市のご指導を仰ぎながら、一人一人の為すべき事を確認し合いながら進めていきたいと考えております。とりわけ、一人でも多くの方が剣道に興味を抱き大会会場に足を運んで応援していただくよう、幼少年育成をはじめ日々の活動を充実させていきたいものと思っております。



がんばるぞー!

☆ リハーサル大会 ☆

大会名：第52回東北高等学校剣道選手権大会
第38回東北高等学校女子剣道選手権大会
会場：男鹿市総合体育館
会期：平成18年6月24日（土）～6月25日（日）

◇平成19年 秋田わか杉国体

成年男子 - 47都道府県
成年女子 - 各ブロック予選を勝ち抜いた16都道府県
少年男子 - 各ブロック予選を勝ち抜いた24都道府県
少年女子 - 各ブロック予選を勝ち抜いた24都道府県
(1チームの人数は、成年女子のみ3人、その他は5人)
総勢587名が出場し、各種別ごとにトーナメント方式で優勝を争います。

会場：男鹿市総合体育館
種別：全種別
会期：平成19年9月30日（日）～10月3日（水）

秋田わか杉国体強化について



強化委員長
目黒 大作

秋田わか杉国体までのカウントダウンが始まり、あますところ11/30現在で68日となりました。懸案でありました剣道競技会場（男鹿市総合体育館）も6月に完成し、雄大な寒風山を一望できるロケーションでもあり、来鹿する全国からの選手・役員にも満足いただけるものと思っております。

この新装の体育館で、9月には東北総合体育大会（岡山国体最終予選会）が開催され、剣道競技会場として事実上の柿落しの記念すべき大会となりました。本大会では、最大の目標だった全種別（成年男女・少年男女）優勝こそ出来ませんが、少年男女がそろって国体出場権を獲得、各県代表の成年男子と共に岡山国体へ出場することができました。

さて、今般広報委員会より強化の現状についての原稿依頼があり、是非この機会に国体開催決定から今日までの歩み、19年本番までの取組みについて報告し、ここにあらためて皆様のご理解をいただき、大会が成功裡に終えるためのご協力をお願いするものであります。

平成7年8月、平成19年国体の本県開催が決定、永年の悲願であっただけに各層の喜びは大変でありました。その後、準備委員会が発足、平成8年5

月、第2回準備委員会では銃剣道を除く全種目の開催地が決定、剣道は男鹿市開催が決められました。

秋田県剣道連盟（以下「秋剣連」）では、同年10月役員が会場地を表敬訪問し、大会成功に向けた意見交換をしました。（詳細は「秋田県剣道史」）

同12月、秋剣連は初の強化委員会を発足、具体的組織編制と事業の策定にあたりました。これまでの事業内容の一部を紹介すると、平成9年、中学生と高校生の各学年別大会（個人戦）の開始、四団体強化交流会（教員・実業団・刑務所・警察）、各種別ごとの強化錬成会、遠征、剣道研究会での強化シンポジウム等があり、14年からは更にアドバイザー事業、医科学面からの強化などジュニア層から成年まで幅広い強化対策がなされ、現在に至っております。

平成17年度の秋剣連組織改編により、秋田国体推進委員会が発足、強化・運営両面からのご入れがなされました。特に強化委員会では、残された期間の強化のあり方を中心に強化対策基本方針を策定しました。

一、秋田県の天皇杯獲得のため、秋剣連が総力を挙げ剣道4種別優勝を最大目標に強化に努める。

二、候補選手の強化に対する意識づけと、技術力の向上を図るための日常の活動の場と機会を設定する。

三、秋田県人の総力を挙げて強化に取り組む。その為には、秋田県出身者の全面的協力体制を確立する。

四、指導体制の強化
以上の方針に基づき、強化の目標4

点を定めました。

一、基盤強化

二、19年度国体強化

三、年度国体強化

四、目前全国大会強化

の4つがそれであり、この四本柱を19年国体の延長線上にすえながら、一体的強化をはかることとしました。

同時に、秋剣連の指導体制を別に定め、指導顧問、指導員を任命、全県的視野に立ち、普及・振興・強化の全般にわたって広く指導を願うこととしました。また、指導要員制を設け、指導・強化の主旨に応じて、その都度指導要員を委嘱するなど長期的展望はもとより、即強化に対応出来る体制をつくってきました。

以上を踏まえ、運営面では来年6月のリハール大会（東北高校選手権大会）で問題点の洗い出し、またキメ細かな運営役員・補助員の養成を通して、本番での完璧を期していきたいと思っております。

強化面では、前述の基盤強化のあり方がすべてを左右するものであり、日常の連盟稽古会（毎週火曜・水曜午後6時30分～8時、県武道館）の活性化を図る必要があります。この連盟稽古会は強化選手のためのものではなく、むしろ一般会員の中に強化選手が入り、共に切磋琢磨する共修の場としていくことが大切です。共修を通して選手に対する心からの声援が自然に湧きあがってくるものと思われまます。

次に、県体協、秋剣連強化事業については、当初計画に基づいて鋭意実施されておりますが、特に連盟会員から

の国体対策に向けた経済的支援等を重く受けとめ、より効率的かつ効果的強化対策としてゆくべく、今後の事業を含めて大胆な見直しを図っていきたく思っております。

強化は、すでに第4コーナーを回り、今後は他県選手との積極的な交流・対戦を通して実戦力を高めるための時間との戦いとなります。強化選手にとつては、学校、職場の理解はもとより、家庭からの暖かい支えが一番必要とされる時期となりますので、ご支援宜しくお願いいたします。

以上、紙面の関係で詳細に述べるものが出来ませんが、強化の根本は選手候補者一人ひとりが19年秋田わか杉国体で、自らが代表となり、優勝に貢献するためには何をしなければならぬかを自問し、取組むこと以外にはありません。それをどう支え、激励するかが強化スタッフの役割であると共に、広く秋剣連会員に求められる課題であろうと考えます。

成年男子の国体連続4位（静岡・埼玉）はじめ、本年度は全国中学校剣道大会での飯島中学校男子団体3位、女子個人ベスト8、全日本女子選手権大会での三浦明子選手のベスト8（優秀選手賞）、県警チームが19年振りで管区優勝、全国大会3位など好材料が多く見られます。上昇ムードに驕ることなく、初心に返って気を引き締め、更に一段上の力量を培う努力をしていきたく思っております。

インターハイ

第52回全国高等学校剣道大会

(8月3日(水)～5日(金))
千葉県立館山運動公園体育館

男子団体

秋田高校監督 小松 誠
男子県代表秋田高校は、七年ぶり十九回目の出場となるインターハイの舞台を踏みました。大会が開催された千葉県館山市は、房総半島の南端に位置し、日本のハワイと称される温暖な地です。しかし八月の日の暑さたるや灼熱地獄さながらで、今大会の鍵は何と言ってもその暑さ対策にありました。選手は体力消耗を抑えるため、移動手段や食事、休息に気を配り、大会当日はほぼベストのコンディションで臨む事ができました。

予選リーグ初戦は草津東(滋賀)。相手に初戦の固さが見られる中、本校選手らの動きは良く、会心の勝利でした。二戦目は難敵の日田(大分)との対戦。7月21、22日に行った宮崎遠征での成果、引き面対策をして臨んだものの、相手選手との繰り出す裏からの変則的引き面に対応できず、無念の敗戦となりました。

予選リーグ突破はなりませんでしたが、東北大会を経てインターハイへと文武両道を貫いて得た一勝は大きな価値があるものと考えております。

男子団体

- 秋田 ② △草津東(滋賀)
山崎 コメ 福岡
黒木 コメ 福田
佐藤 メ 野々村
駒野谷 メ 堀口
小野 メ 広田
(先) 日田(大分) ④ △秋田
井岡 メ 山崎

- 横山 コメ 黒木
中山 コメ 駒野谷
横尾 メ 佐藤
(大) 二串 メ 野



女子団体

秋田北高 六郷由美子

昨年、全県総体で敗れインターハイの出場権を逃してしまつた翌日から仲間と共にひたすら練習に励んできました。それから一年たった今年の総体。団体、個人共に優勝し、大きな目標であったインターハイ出場を達成することができました。大会では、積極的に先をかけて強気で攻める剣道を目指し、絶対に勝つという気持ちで全員が臨みました。

団体予選リーグ初戦は岡山・津山東高校。この試合は先鋒が立ち上がりから積極的に技を仕掛けて二本勝ちを収めると、次鋒、中堅も相手の残心や居着いた所を逃さずに打って連勝し、前

衛陣で勝負を決めることができました。二戦目は千葉・木更津総合高校。初戦の勢いを保ちたかったところですが、序盤で二人リードされてしまい苦しい展開となりました。しかし、中堅で引き分け、副将で一本勝ちと粘り強い試合で私に勝負が託されました。平常心でいこうと臨みましたが、相手を崩すことができず、技が決らない。冷静さを失ってしまい、一本を取れずに試合終了。予選リーグ敗退となってしまいました。心が乱れ、当てることにこだわってしまった自分の未熟さと、相手の崩れない守りの厳しい剣道に全国の壁の厚さを感じました。個人戦は2回戦で相手を崩して相小手面を決めることができ、3回戦で敗れてしまいました。攻め崩して取れたこの一本は私にとって価値のある一本となりました。

全国の強豪は一本の振りの速さや正確さ、勢いなど、私達に足りないものを多く持っていました。この経験を生かし、これからも稽古に励みたいと思います。

これまで指導して下さった木浪先生をはじめとする諸先生方、先輩方、応援して下さい下さった方々、部員の皆、本当に有難うございました。

女子団体

- 秋田北 ③ △津山東(岡山)
(先) 長門 コメ 松岡
松淵 メ 宮
(中) 貝田 メ 山根
三浦 メ 植月
(大) 六郷 メ 美浪
木更津総合(千葉) ② △秋田北
(先) 永吉花 ド 長門
元吉 ド 松淵
(中) 佐々木 ド 貝田
大屋 ド 三浦
(大) 永吉菜 ド 六郷

男子個人戦

- (1回戦)
山崎 洵 メ 野田 篤史
(秋田)
三浦 寛史 メ 野口 博史
(秋田南)
(2回戦)
山口 直広 メ 山崎 洵
(桒栗・阿蘇)
松本 敏和 メ 三浦 寛史
(桒栗・小山)
(秋田南)

女子個人戦

- (1回戦)
安富 清香 メ 貝田 理沙
(静岡・磐田)
(2回戦)
六郷由美子 メ 小浦方志織
(秋田北)
(3回戦)
山野井友里ココ 六郷由美子
(埼玉・埼玉栄) (秋田北)



第36回全国高等学校
定時制通信制剣道大会

(8月11日(木) 日本武道館)
女子団体・女子個人ともに
二連覇なる!!

〔優勝〕秋田
女子団体



女子団体優勝 秋田

〔優勝〕
女子個人

島山愛美さん
(秋田・県立角館南高)



女子個人優勝 島山愛美さん

第35回全国中学校剣道大会

(8月18日(木)～20日(土))
三重県営サンアリーナ
飯島中学校男子
見事三位入賞を果たす!!

飯島中学校
剣道部主将 齊藤 将吾

僕たち飯島中学校剣道部は、8月18日から20日に三重で開催された第35回全国中学校剣道大会に出場しました。昨年も2年生主体のチームで全国大会に出場させていただきましたが、昨年に比べて今年は緊張感もあまりなく、のびのびと試合ができたような気がしました。

大会1日目、まず決勝トーナメント出場をかけた3校で行われる予選リーグは、2校ともに強豪チームの神奈川潮田中学校と岡山県久中学校との対戦でした。苦しみながらも2校に勝つことができ、昨年達成できなかった予選リーグ突破を果たすことができました。続く、決勝トーナメント1回戦、ベスト8をかけて福岡舞鶴中学校と対戦をしました。相手は九州大会2位という実力を誇るチームでしたが、僕たちは一人ひとりが自分の役割を果たし、3-0で勝つことができました。

大会2日目、冬の若鷲旗全国剣道大会で一度負けてしまった大分中学校との対戦でしたが、お互いが力を合わせ3-1で勝つことができ、準決勝へと駒を進めました。そして迎えた準決勝、対千葉逆井中学校。彼らとは友であり、最大のライバルという関係でした。試合は一人ひとりが3年間必死に練習し

てきたことの集大成とも言える内容でしたが、3-2というあと一步のところまで負け、3位という結果で終わりました。新チームを作った時に定めた目標「全県・東北優勝、全国上位」すべの目標を果たした今、夢を叶えるためには、「努力・信頼」が一番大切だということを自覚しています。最後に今まで指導してくださった先生や先輩、陰で支えてくれた家族、応援してくださいました方々、本当にありがとうございます。

| | | | |
|-------------|-------------|--------------|-----|
| 予選リーグ | 飯島中 2-1 瀬田中 | 〇保坂(苞)コ | 野坂 |
| 〇飯島(拓)メ | 〇溝口 | 〇夏井メ | 山本 |
| 〇保坂(苞)ド | 〇杉山 | 〇菊地コ | 黒石 |
| 〇齊藤ドメ | 〇小倉 | 〇飯島中 3-1 南大分 | 〇吉川 |
| 〇夏井メ | 〇宮崎 | 〇保坂(苞)メ | 〇井上 |
| 〇菊地メ | 〇小熊 | 〇保坂(苞)メ | 〇津島 |
| 予選リーグ | 飯島中 3-1 久中 | 〇飯島中 2-3 逆井中 | 〇元田 |
| 〇飯島(拓)メ | 〇森 | 〇保坂(苞)コ | 〇佐藤 |
| 〇保坂(苞)メ | 〇今田 | 〇齊藤コ | 〇米村 |
| 〇齊藤メ | 〇赤野 | 〇飯島中 3-1 舞鶴中 | 〇上村 |
| 〇夏井ドメ | 〇内田 | 〇飯島中 3-1 舞鶴中 | 〇梅 |
| 〇菊地コ | 〇舞鶴中 | 〇保坂(苞)メ | 〇生方 |
| 決勝トーナメント1回戦 | 〇舞鶴中 | 〇飯島中 3-1 舞鶴中 | 〇上村 |
| 〇飯島(拓)メ | 〇杉山 | 〇保坂(苞)メ | 〇上村 |



〔女子 個人ベスト8〕



神坂 友絵さん
(秋田・本荘南中)

第27回全日本高齢者
武道大会(剣道)

(6月6日(月)日本武道館)
〔優勝〕
寿組A(85歳以上)



渡辺 八郎 氏
(秋田)

平成17年度
全日本少年武道(剣道)錬成大会

(7月23日(土)～24日(日)日本武道館)
〔優良賞〕 秋水館鎌田道場A

第40回全国高等専門学校
体育大会 剣道競技

(8月7日(日) 栃木県立南体育館)
〔男子団体〕

〔第三位〕 秋田工業高専

〔女子個人〕
〔第三位〕 門間 梢恵さん(秋田高専)

第40回全日本少年剣道錬成大会
第30回全日本選抜少年剣道個人錬成大会
第40回記念全日本少年剣道個人錬成大会

(8月8日(月)～10日(水) 日本武道館)
〔小学4年生以下〕

〔第三位〕 松山 大晟 君(天王館道場)

平成17年度 事業予定表 (H17年12月~H18年3月)

12月

Table with 4 columns: 日, 曜日, 行事, 開催地. Rows include 全県高校新人戦 and 小学校学年別大会.

1月

Table with 4 columns: 日, 曜日, 行事, 開催地. Rows include 秋田市民寒稽古 and 湯沢立切試合.

2月

Table with 4 columns: 日, 曜日, 行事, 開催地. Rows include 全国高校選抜大会予選 and 都道府県対抗県予選.

3月

Table with 4 columns: 日, 曜日, 行事, 開催地. Rows include 全国選抜少年剣道大会 and 魁星旗争奪全国高校剣道大会.

恩師の思い出 (1)



秋田県剣道連盟 雄信館館長 顧問 内山 眞

今年の夏は猛暑が続き、老人の小生には非常にこたえました。暑い中での稽古で思い出すが、東京修道学院の土用稽古。

稽古を見守りながらも、今夜は誰が倒れるのかと心配し、それを想像するだけでも気分が悪くなったものでした。が、その日は稽古が始まって二十分程した時、突然、大先生が大太鼓を叩くと命ぜられたのです。

その山を眺めて、店の親父さんに「少ない山の方が値が高いだろう」「多い山の方は値が安いと思うが」と言ったらとこころ、親父さんは少ない山はいくら、多い山はいくらと囁いた。

編集 秋田県剣道連盟広報委員会 委員長 大森 宣昌

10月発行予定が11月にずれ込んでしまいましたが、寄稿いただいた男鹿市長様はじめ皆様にお詫び申し上げます。

お知らせ 秋田県剣道連盟稽古会 (県立武道館) 火曜日 17時30分~19時 高校生 一般